

1 プログラム概要

中国日本友好協会が派遣した中国中学生書道交流訪日団計 33 名が、4 月 12 日から 4 月 19 日までの 7 泊 8 日の日程で来日しました。（団長＝程海波（テイ・カイハ）中国日本友好協会・友好交流部部長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は、東京をはじめ、広島県、大阪府を訪問し、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、東京都・広島県に於ける日中学生書道交流展や学校交流等を通じて、日本の中学生や高校生との友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

4 月 12 日（土）

成田国際空港より入国、皇居・二重橋見学、オリエンテーション

4 月 13 日（日）

台東区立書道博物館視察、東京国立博物館視察、日中学生書道交流展

4 月 14 日（月）

東京タワー見学、日本科学未来館視察、浜離宮恩賜庭園見学、浅草寺見学、歓迎会

4 月 15 日（火）

広島へ移動、広島市中工場（ごみ処理施設）視察、和風旅館での日本文化体験

4 月 16 日（水）

宮島・厳島神社視察、平和記念公園・原爆ドーム視察、企業視察（マツダミュージアム）

4 月 17 日（木）

熊野筆に関する視察・筆作り体験（熊野町筆の里工房）、学校交流（熊野町立熊野東中学校）

4 月 18 日（金）

大阪へ移動、大阪城見学、商業施設視察、歓送報告会

4 月 19 日（土）

関西国際空港より帰国

3 写真

	
4月12日 皇居二重橋見学（東京都）	4月12日 オリエンテーション（東京都）
4月12日 参观皇居二重桥(东京都)	4月12日 说明会(东京都)
	
4月13日 台東区立書道博物館視察（東京都）	4月13日 東京国立博物館視察（東京都）
4月13日 考察台东区立书道博物馆(东京都)	4月13日 考察东京国立博物馆(东京都)
	
4月13日 日中学生書道交流展（東京都）	4月13日 日中学生書道交流展（東京都）
4月13日 日中学生书法交流展（东京都）	4月13日 日中学生书法交流展(东京都)

	
4月13日 日中学生書道交流展（東京都）	4月13日 日中学生書道交流展（東京都）
4月13日 日中学生书法交流展（东京都）	4月13日 日中学生书法交流展（东京都）
	
4月14日 東京タワー見学（東京都）	4月14日 日本科学未来館視察（東京都）
4月14日 参观考察东京塔（东京都）	4月14日 考察日本科学未来馆（东京都）
	
4月14日 浜離宮恩賜庭園で八重桜鑑賞（東京都）	4月14日 浅草寺見学（東京都）
4月14日 在浜离宫恩赐庭院欣赏八重樱花（东京都）	4月14日 参观浅草寺（东京都）

	
4月14日 歓迎会 川田勉外務省中国・モンゴル第一課地域調整官歓迎挨拶（東京都）	4月14日 歓迎会 汪婉中華人民共和國駐日本大使館友好交流部参事官が団員と談笑（東京都）
4月14日 欢迎会 川田勉外務省中国・蒙古第一課地域調整官致欢迎词（东京都）	4月14日 欢迎会 汪婉中华人民共和国驻日本大使馆友好交流部参赞与团员畅谈（东京都）
	
4月15日 広島市中工場（ごみ処理施設）視察（広島県）	4月15日 和風旅館での日本文化体験（広島県）
4月15日 考察広島市中工厂（垃圾处理设施）（广岛县）	4月15日 在日式旅馆体验日本文化（广岛县）
	
4月16日 世界遺産 宮島・厳島神社視察（広島県）	4月16日 世界遺産 平和記念公園・原爆ドーム視察（広島県）
4月16日 考察世界遗产 宫岛・严岛神社（广岛县）	4月16日 考察世界遗产 和平纪念公园・原子弹爆炸圆顶屋（广岛县）

	
4月16日 マツダミュージアム視察（広島県）	4月17日 熊野町で筆の里工房視察（広島県）
4月16日 考察马自达汽车博物馆(広島県)	4月17日 在熊野町考察笔具之乡工房(広島県)
	
4月17日 筆の里工房で筆作り体験（広島県）	4月17日 熊野町立熊野東中学校訪問・交流（広島県）
4月17日 在笔具之乡工房体验亲手制作毛笔(広島県)	4月17日 访问熊野町立熊野东中学，交流(広島県)
	
4月17日 熊野町立熊野東中学校訪問・交流（広島県）	4月17日 熊野町立熊野東中学校訪問・交流（広島県）
4月17日 访问熊野町立熊野东中学，交流(広島県)	4月17日 访问熊野町立熊野东中学，交流(広島県)

	
4月18日 大阪城見学（大阪府）	4月18日 歓送報告会 総括を述べる程海波団長（大阪府）
4月18日 参观大阪城（大阪府）	4月18日 欢送报告会 程海波团长作总结（大阪府）
	
4月18日 歓送報告会 修了証書授与（大阪府）	4月18日 歓送報告会 訪日成果報告（大阪府）
4月18日 欢送报告会 颁发修了证书（大阪府）	4月18日 欢送报告会 汇报访日成果（大阪府）

4 中国中学生の感想（抜粋）

○今回の日本訪問は私にたくさんのことを教えてくれた。日本文化についてより深く学ぶことができ、前回の海外公演の時とは比べ物にならないくらい濃い体験をした。

中でも一番忘れられないのは、学校訪問の際、あれよあれよという間に日本の先生方や学生たちの熱い熱い歓迎を受けていたことだ。これからの交流を前に、私は嬉しくなった。生徒会の男子学生は、まるまる30分近くも学校紹介をしてくれた。きっと私たちとの書道交流をととても大切に思うからこそ、こんなにもきっちりと準備してくれたのだろう。

帰国したら、日本をあまり好きではない友達や、すごく嫌っている友達に私は言いたい。民族的な感情だけにとらわれて、その国を見るのはやめた方がいいよと。「耳で聞くは偽り、目で見るとは真実」というように、実際そこにいて、肌で感じてこそ、その国のいろいろな面を知ることができるのだ。もちろんその国の良し悪しまで論じることはできないけれど。なぜならそれは何年も住んでみて初めてわかるものだから。いずれに

しても、全てが過ちなんてことは絶対にありえない。そうでなければ、日本が世界でも数少ない「先進国」の一つになれるわけないのだから。

○初めて日本にやってきて、その清潔な街並みにまず心を打たれた。街にはどこにもごみ箱がないのに、まるでピカピカなのだ。こんな所ではとてもごみのポイ捨てなどできないだろう。誰もがみんなのために社会を良くしようと一生懸命なんだなあと感じた。帰国したら、私はまず自分から行動してみようと思う。人の身になって考え、環境保護を自分の責任ととらえ、身近な人の心を動かし、より多くの人に広げていきたい。

それから、たぶんほかのみんなも同じだと思うが、一番心に残っているのは日本人の人としての質の高さだ。熊野東中学校の学生たちのことを、私たちは忘れることができない。盛大な歓迎会、温かな見送り、そのどれもが彼らの真心、善良さ、優しさを感じさせてくれるものだった。

○今回の日本訪問はとても意義深く、とても収穫の多い旅だった。

まずは日本の人と文化について。日本人と中国人は見た目こそそっくりだが、その気質や言葉遣いから日本人の質の高さがうかがえた。レストランに入るたび、お店の人は毎回最高の笑顔と、最高に心のこもった口調で私たちに「こんにちは」と挨拶してくれる。また書道交流の際にも、日本の学生たちの優しさと温かさに触れることができた。何より一番の驚きは、中日関係が今こんなにも緊迫しているというのに、この数日間、中国人に反感を抱く日本人に一人も出会わなかったことだ。中日両国の一般市民の友情はずっと変わらないのだと知った。

また、より心惹かれたのは日本の風景の美しさだ。特に花。いろいろな花々が咲き乱れるこの季節、桜のシーズンこそ過ぎていたものの、ラッキーなことに観光の時はいつも晴れ。満開の八重桜にもなんとか間に合った。一陣のそよ風に舞い散る桜の花びら。なんてきれいな光景！本当に、もし許されるのなら永遠にここで暮らしたいとまで思った。いつもは落ち着いている私たちの先生でさえ、この時ばかりは次から次へと写真を撮っていた。景色があまりにも美しかったせいだろう。そうそう、あと梅の花もあった。みんな野生のものだった。

また、ある時私たちはごみ処理施設を見学した。見学後、私は自分の顔が赤くなるのを感じた。ごみ処理施設がまるで中国の博物館みたいにきれいだったからだ。北京市民の一人として本当に恥ずかしいなと思った。あと東京タワーもきれいな所だった。タワーの上からは東京の全景を見ることができた。

いろいろ述べたが、私が言いたいことはただ一つ。日本が好き。私は中国人だけど、深く深くこの国に魅せられた。短い間だったとはいえ、日本の素晴らしさを教えられた8日間だった。ありがとうございました。

○熊野東中学校の体育館に足を踏み入れた時、私は思わずそこでの光景に目を丸くした。日本の学生たちが皆、拍手と笑顔で私たちを迎えてくれていたのだ。日本の人々、日本の中学生たちの厚い友情を感じたひとときだった。続いて授業の様子を見学したが、日本の学生たちが積極的に問いに答えている姿に更に感銘を受けた。最後に、私たちは書道室で書道部の女子学生たちと揮毫交流をした。一人ひとりが英語で自分の作品を紹介

し、互いにそれを贈り合った時、何だか相手にすごく尊敬の念を覚えた。

今回の書道交流はとても有意義だった。日本の文化を深く理解することができたとし、日本人との友情を一段と育むことができた。

○今回の日本訪問で、私は大型バス、飛行機、新幹線、船に乗り、遊学の喜びを知った。

今なお記憶に新しいのは、日本の学生との交流プログラムだ。言葉は通じなくても、私たちは互いに助け合い、書道を通じて交流し、学び合うことができた。またお互いの作品を鑑賞したり、お手本にして、中日両国の学校への理解と友情を深めることもできた。私たちは両国の平和と友好の使者だと思っている。どうかこの友情が永遠に続きますように！

○8日間の日本訪問の旅はこうして始まり、そして終わった。

この間一番心に残ったのは、日本人の礼儀についてだ。その日、私たちは中学校を訪問した。校長先生や訪日団団長が挨拶する時、あるいは立ち上がって誰かが何か発言する時、日本人は必ずその前にお辞儀をする。そしてそれに対し日本の学生もまた全員が必ずお辞儀を返すのだ。しかもその一連の動作の間、しんと静まりかえって統制が取れていた。これは決して特別にそうさせられているわけではなく、礼儀作法と普段の習慣から来ているものだ。この場面は私たち訪日団の中学生全員にとって衝撃だった。だが、ある学生はすぐにこれに適応し、日本の学生たちのように頭を下げお辞儀をしたりしていた。この時のことは私には確かに驚きだったが、それ以上に敬服と尊敬の念を覚えた出来事だった。

日本では街角でゴミ箱を見ることはほとんどない。たとえ置かれていたとしても中国のゴミ箱のように汚くはないはずだ。日本人は国民全体のレベルが高い。ガラスを捨てる際には紙で包み、ほかのゴミと分けて捨てるほどなのだから。

この8日間はあっという間だったけれど、私は本当にたくさんのことを学んだ。今回の訪日で日本人に対する見方がまるっきりひっくり返ってしまった。実際日本人は私たちにとって本当に仲良くすべき友人だ。政治問題さえなければ、両国はきっともっと良いパートナーとなることができるのと思う。

○印象に残っていることは、熊野筆の里工房での筆づくり体験だ。筆の軸にはすでに一人ひとり自分の名前が彫っており、とても良い記念になった。また作っている最中、伝統工芸士の方々が手取り足取り我慢強く教えてくれた。

日本人は優しくて細やかですごく心配りのできる人々だと感じた。

○8日間の日本訪問がもうすぐ終わろうとしている。あっという間に時間が過ぎて、楽しい旅も終わりを迎えてしまった。残されたのは日本の友だちとの友情と別れ難いこの想いだけ…。

日本の学生たちとの書道交流では、その技の素晴らしさ、自在な筆使いに一目で普段の努力の样子がわかった。作品を書き終えた後、私は日本の学生とお互いの作品とお土産を交換し合ったり、連絡先を教え合った。私たちの友情がずっと続き、これからもずっと連絡を取り合えるといいな。

この訪問が終わろうとする今、私は日本への理解がますます深まってきたのを感じる。日本人は規則をよく守り、礼儀正しくてフレンドリーだ。これまでの想像と全く違う。

機会があればまた日本を訪問したいと思う。そして日本の友達と一緒に遊びたい。絶対もう一度来るからね。

○今回の訪日期间中、一番印象に残ったのはマツダミュージアムとごみ処理施設の見学だ。マツダミュージアムでは、オート三輪の製造から今日の優れた自動車生産へと、毎年のように大きな飛躍を遂げながら移り変わっていったマツダの歴史を見ることができた。またこれからの未来図——「スカイアクティブ・テクノロジー」のことを学んだり、精密かつ複雑な生産現場の様子も見学した。

さらに、ごみ処理施設の訪問を通じ、私は日本の高度なごみ分別の様子についても学ぶことができた。日本の街はどこもかしこもとても清潔だ。ごみ処理施設では、緻密に連携し完全に自動化された処理設備ユニットを見たが、処理施設の美しさと清潔さには本当にびっくりさせられた。施設の後方は海に面していた。これは海を埋め立てて陸地を広げるためだ。ごみ焼却後の灰は埋め立てに使われているらしい。

ほかにも熊野筆の里工房を見学した。私たちの筆一本一本がこんなにも手の込んだ工程を経て生み出されているのを知り、手の中の筆がこれまでよりずっと大切に思えてきた。

今回の日本訪問は私の記憶と心にしっかりと刻み込まれた旅だった。

○あっという間に8日間の交流プログラムが終わろうとしている。今回の訪日は私に深い感銘を与え、日本と日本人について認識を新たにした。

日本の人々は皆とてもフレンドリーだった。ホテルでは、たとえ見ず知らずの人でも、自分とすれ違う日本人は必ずほほ笑みながら挨拶してくれたし、学校訪問や書道交流の際にも、日本の学生たちは一生懸命私たちの面倒を見てくれて、まるで中国にいる時のような近しさ感じた。また今回随行してくれた日本側スタッフの方々も本当によく私たちの面倒をみてくれた。とても優しくフレンドリーで、日本人に対する見方が変わった。

帰国したら私は周りの人たちに伝えたい。日本や日本人は私たちが思っているのとは全然違うよと。機会があれば、私はもう一度日本を訪れてみたい。